

平成 25 年度 第 3 回 甲賀市自治基本条例策定委員会 次第

日時:平成 25 年(2013 年)9 月 3 日(火)

15 時 00 分から 17 時 00 分まで

場所:サントピア水口(共同福祉施設) 教養文化室

1 開 会

市民憲章唱和

2 第2回会議録の確認について

3 ワークショップ(グループ討議)


時間	内容	備考
15:05~ 15:10	ワークショップの進め方	小林委員長
15:10~ 16:30	・進行役・書記・発表者を決める ・テーマ ① 甲賀市の特徴(強み・良いところ) (弱み・悪いところ) ② 今後、この委員会で考えていきたいこと (条例に盛り込みたいこと) ※できるだけ主語をつけて考えること	グループ討議
16:30~ 16:55	検討結果(中間報告)の発表及び質疑応答	

4 次回の内容について

5 閉 会

甲賀市市民憲章

わたしたちは「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」
を目指して、この憲章を定めます。



あふれる愛に
あなたも仲間
いろいろ山河と
生きいき文化
こぼれる笑顔に
応える安心
うみだす活力
受けつぐ伝統
かがやく未来に
鹿深の夢を

ワークショップの基本ルール

1. ワークショップのルール

- ①. 話し合いに積極的に参加しましょう
- ②. お互いに学びあう場にしましょう
- ③. 自分と違う意見も尊重しましょう
- ④. 相手の意見を否定しないようにしましょう
- ⑤. グループ内の良い雰囲気づくりを心がけましょう
- ⑥. 思いついたことは積極的に発言しましょう
- ⑦. 前向きな思考で発言しましょう
- ⑧. 発言はできるだけ短くしましょう
- ⑨. 楽しみましょう

2. ふせん紙（ポストイット）の使い方

- ふせん紙には「表裏」「上下」があります。記入の際は表面に、また、上下を間違えないように注意してください。
- 一枚のふせん紙には、一つの内容だけを記入してください。

糊（のり）

- 糊がついている面は裏面です。
- 糊がついている方を上にして使ってください。

テーマ 「活動をしていて困っていること、壁を感じていること、市になって（合併して）戸惑っていること」

高齢者

- 高齢者が苦勞する
- 高齢者が多い

女性

- 女性の参加が低い
- 男性は女性に理解を
- 女性のリーダーをもっと

地域伝統文化

- 地域の特性が活かされていない
- 芸術の場
- 住民の質が異なる
- 山の守りに困っている
- 文化が異なる

行政に物申す！？

- 鉄道がない
- 交通体系が不便
- コネやゴネがある
- 効率、コストパフォーマンスが最優先
- 学校が古い
- 公共の交通手段
- まちづくりが旧町の意見？
- 住民の理解が低い
- 市の支所（地域市民センター）をもっと多機能化してもらいたい
- 市の情報が一人ひとりに行き届いていない
- 施設の有料化
- 警察官不足
- 笑顔がない
- 物価の高低
- もっと協力を
- 若者の遊び場
- 観光は地域にとってプラスになるか

合併の効能

- 合併により行政が遠のいた
- 合併後、周辺部はさびれるばかり
- 旧町のエゴ
- 垣根がある
- 合併してよかったのか
- 5町の統一は何か
- 合併により旧町で懇親する機会がなくなった
- ある町は損をしている

コミュニティ

- 近所づきあいが減った
- 地域のことが隅々まで伝わっていない
- 近所、地域の住人がわからない

企業

- 企業が少ない

参加意識

- 役員を引き受けない（地域全員で退会された）
- 役員だけの活動となっている
- 同じ人しか参加しない
- 参加する人が一部の人に集中している
- 役が回ってくるから団体に入りたがらない
- 行政依存が改まらない
- 行事への参加者が少ない
- 区等の行事に参加されない
- 若者のボランティア意識が低い
- 保護者の参加が少ない

活力低下

- 情報不足
- やっていることが他人事のように冷めている
- 好きで活動しているようにしかとられていない
- 住民の間でシニシズムが蔓延している
- 屋間に若者がいない
- 商店街が危ない
- 個人商店が少ない
- 集落を維持するのが困難になってきている
- 街に子どもが少ない

テーマ 「活動をしていて困っていること、壁を感じていること、市になって（合併して）戸惑っていること」

格差

- 中心地と周辺地の格差を感じる
 - 経済（お金の循環）の地域格差
 - 社会福祉協議会の活動範囲が広すぎる
 - 地域の古い慣習が障害となっている
- 【例】役員人選
- 行事の開催場所集中による地域格差
 - 行政サービスの地域格差
 - 健康福祉会の地域間格差

資金不足

- 予算（活動）の縮小
- お金を回す仕組みを作ることが難しい
- 活動費の捻出が難しい
- 社会福祉協議会に対する補助金が減らされて困っている

協働

- すべては市にやってもらうという意識を持っている人が多い
- 協働の取り組み、必要性が分かっていない人が多い
- 自分たちの活動を宣伝する場を行政に支援してほしい

国家観の欠如

- 国家観の欠如

自治振興会

- 自治振興会に対し理解が少ない（浸透していない）
- 自治振興会の温度差
- 区、自治会の考え方にこだわる
- 自治振興会と区長会の役割分担の不明瞭さ
- 先導役となる人の理解に温度差があり、推進がスムーズにいかないこともある
- 区、自治会と自治振興会で考え方の隔たりがある（一体化しにくい）
- 住民への自治振興会活動の浸透に時間がかかる

人材不足

- 役の重複
- 民生児童委員を受けていただく人がいない
- 組織をうまく運営するには！
- 過疎化、少子高齢社会
- リーダーとなる人が出てこない
- 市民活動の人材不足
- 市民の行政に対する関心の低下
- 高齢化のため地域奉仕作業に支障がある
- やる気の減少
- 伝統行事、神社、寺の継続困難

その他

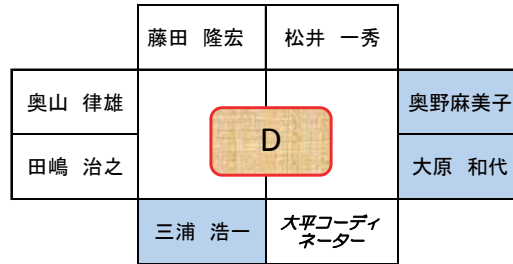
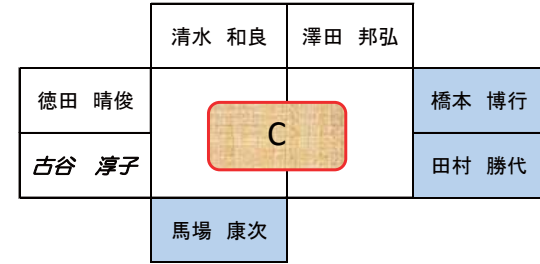
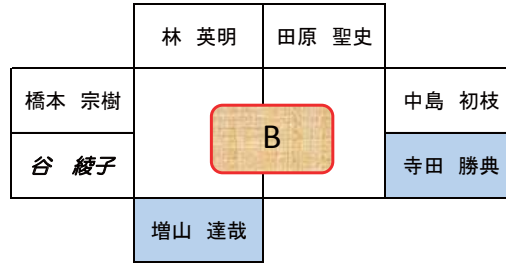
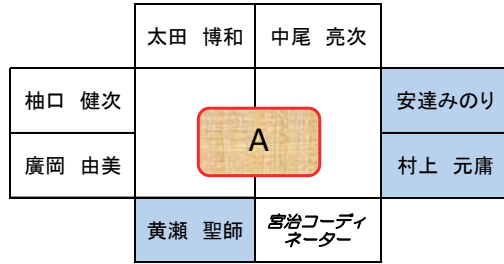
- 市の機構改革のメリットが市民に見えにくい（経費と手間の無駄使いにしか思えない）

ステージ

9月3日（火）ワークショップレイアウト

事務局

委員長



出入口